授業科目	健康臨床心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	水貝　洵子						
授業概要	健康臨床心理学は、ひとのからだとこころの健康に関する心理学知識や心理学支援についての学問である。 授業では健康臨床心理学や健康臨床心理学の基礎となる概念について解説をしていく。また、これまで学習してきた心理学や臨床心理学の諸理論を復習し、さらに医療等の現場でどのように対象者の理解や支援に活かしていくか発展的な内容を扱う。授業後半は、病いを抱えながら生活していく患者やその家族に寄り添う支援について、事例などをもとに検討をしていく。						
授業形態	講義				授業方法	ディスカッション グループワーク	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．健康心理学および健康臨床心理学の目的および課題、健康臨床心理学の基盤となる諸理論を説明することが出来る。 2．健康臨床心理学の知識を用い、医療現場における対象者の心理や心理的支援について考え始めることが出来る。
理想的レベル	1．健康心理学および健康臨床心理学の目的および課題、健康臨床心理学の基盤となる諸理論を適切に説明することが出来る。 2．健康臨床心理学の知識を用い、医療現場における対象者の心理について考えることが出来ると伴に、適切な心理支援の在り方について考えることが出来る。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト		
レポート	25%	授業にて提出を求める質問感想シートやワークシートを指す
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	05%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE31416J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
該当箇所の復習	4

授業計画

第 1 回	テーマ：オリエンテーション 　健康臨床心理学の目的や確立された経緯、その対象等について解説を行う。また、健康の捉え方の変遷について解説する。さいごに、受講学生がどのような領域に関心を抱いているのか感想シートにて問う。

第 2 回	テーマ：心身相関 　心身相関に関する研究についての歴史的変遷を解説する。また、こころとからだの繋がりについて、日常生活で体験できるレベルの例から臨床的事例までを挙げながら解説を行う。
第 3 回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント 1 　ストレスに関する心理学モデルの解説を行う。
第 4 回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント 2 　ストレスへの対処を含めた心理学モデルの解説を行う。
第 5 回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント 3 　ストレスへの対処に関して、心身相関に基づいた心理学的技法を紹介し、実際に体験する時間を設ける。
第 6 回	テーマ：心理学分野における基礎知識と患者の理解 　これまで学習してきた心理学および臨床心理学における諸理論を復習し、どのように医療で出会う対象者の理解につなげていくかについて解説を行う。
第 7 回	テーマ：生物心理社会モデル 　患者の生活を理解するうえで重要となる生物心理社会モデルの解説を行う。
第 8 回	テーマ：患者のこころの理解の基礎 1 　急性期および回復期の患者やその家族の心理的特徴について解説を行う。
第 9 回	テーマ：患者のこころの理解の基礎 2 　慢性期および終末期の患者やその家族の心理的特徴について解説を行う。
第 10 回	テーマ：患者のこころの理解の基礎 3 　発達段階別にみた患者の心理的・発達的特徴を解説する。また、患者の発達段階に応じた医療スタッフの関わり方の配慮点について説明する。
第 11 回	テーマ：心理療法と心理支援 1 　乳幼児期の患者とその家族への心理支援について、事例検討を通じ、解説していく。
第 12 回	テーマ：心理療法と心理支援 2 　終末期の患者とその家族への心理支援について、事例検討を通じ、解説していく。
第 13 回	テーマ：心理療法と心理支援 3 　心理療法のひとつである認知行動療法の基本的な考え方について紹介し、認知行動療法に基づいた心理支援の事例について紹介する。
第 14 回	テーマ：心理療法と心理支援 4 　心理療法のひとつである解決志向療法の基本的な考え方について紹介し、解決志向療法に基づいた心理支援の事例について紹介する。
第 15 回	テーマ：まとめ 　これまでの授業内容の振り返りを行う。
テキスト	指定しない。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	森和代・石川利江・茂木俊彦（編），「よくわかる健康心理学」，ミネルヴァ書房. 宮脇稔・大野太郎・藤本豊・松野俊夫（編），「健康・医療心理学」，医歯薬出版株式会社. 日本健康心理学会（編），「健康心理学概論」，実務教育出版. 羽鳥健司（編著），「臨床健康心理学」，ナカニシヤ出版.

課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する質問や感想は、適宜授業内で取り上げて回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	臨床心理学概論、心理学概論Ⅰ、Ⅱを受講していることが望ましい。 授業中に実施されるワークに積極的に参加する姿勢が求められる。